



急ブレーキや急接近などの「あおり運転」を厳罰化する改正道交法が30日に施行されます。

①「あおり運転」を厳罰化する法改正が行われたのはなぜですか？

.....

②今回の法改正で新設した妨害運転罪の対象は？

.....

③県警が昨年、県内で認知した悪質な運転の件数は？このうち反則切符処理をしたのは何件でしたか？

.....

④あおり運転に遭った際の対応について県警はどう呼び掛けていますか？

.....

あおり運転、30日から厳罰化

急ブレーキや急接近などの「あおり運転」を厳罰化する改正道交法が30日、施行される。県警が昨年、県内で認知した悪質な運転は90件。極端に車間距離を詰めたたり、不必要にクラクションを鳴らすなどしてトラブルに発展したケースという。ほとんどは警察官の指導警告にとどめたが、今後は「妨害運転罪」として即免許取消処分を受ける可能性がある。

思いやり、譲り合いを



あおり運転を巡っては、神奈川県の高尾道路で2017年6月、追い越し車線上で停車させられたワゴン車が後続車に追突され、乗っていた夫婦が死亡する事故が発生した。悪質な運転の取り締まりを強化

するため、今回の法改正と新設した妨害運転罪の対象は▽車間距離の不保持▽蛇行運転など10類型。通行を妨げる目的で違反し、交通の危険を生じさせると罪に問われる。

罰則は「3年以下の懲役または50万円以下の罰金」。違反点数は25点。免許が取り消され、最低2年間は再取得できない。高速道上で相手車両を停車させるなど「著しい危険」を及ぼした場合は、5年以下の懲役か100万円以下の罰金となる。違反点数は35点で、免許再取得までの期間は最低3年間。県警は昨年、急ブレーキ禁止違反などで4件を摘発し、反則切符処理をした。指導警告は86件だった。今

県警、昨年90件認知

「遭遇したら110番」

あおり運転に遭った際は「パーキングエリアなど安全な場所に停車し、車から降りずに110番をしてほしい」と県警。対策として、ドライブレコーダーの設置などを勧めている。交通指導課の安倍順一

年は5月末時点で30件（前年同期比2件増）で、いずれも指導警告。昨年、今年ともに交通事故になったケースはない。

- 妨害運転罪の対象となる10類型
- クラクションの継続
 - 不要なパッシング
 - 車間距離を極端に狭める
 - 不要な急ブレーキ
 - 幅寄せや蛇行運転
 - 対向車線からの接近
 - 急な進路変更
 - 左側からの追い越し
 - 高速道での低速走行
 - 高速道での駐停車